

報告第1号

平成26年度

## 事業報告書

平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

## 総括

各事業は計画に対して概ね着実に実行され、所期の成果を収めることができた。この中で、体験飛行者数は過去最高件数を更新し、滝川におけるスカイスポーツの知名度が向上していることが伺える。これは、啓発事業が一定の成果を上げていることを示している。

また、M-02Jの展示・試験飛行を通じて、全国に「たきかわスカイパーク」の報道等が行われたため、地元観光業者等からも注目を集めるようになり、今後のさらなる進展が期待されている。

平成26年度は、消費税率引き上げ、航空機用ガソリンの値上げなどの要因により、各種の料金を改定したが、それに伴い退会者が例年より多くなった。このことは、短期的な現象と考えられるが、今後よりよい飛行環境の整備を行うことで、入会者の増、飛行実績の向上などに取り組む必要がある。

## 航空安全

日々の安全な運航体制を構築するとともに、飛行に関わるスタッフ及び会員の安全意識を堅持して、無事故記録5,841日を更新した。

## 事業活動

### I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

#### 1. グライダースクールにおける操縦に関する指導を行った。

（括弧内の増減数は、対前年比）

##### ① グライダースクールを実施した。

###### ・サマートレーニングコース

5日間単位のコースを8回実施した。

延べ参加人数：308名（119名減）

飛行回数：902回（421回減）（除体験808回）

飛行時間：566時間（261時間減）（除体験547時間）

第1回：	6月23日～6月27日	参加人員	43名（15名減）
第2回：	6月30日～7月4日	参加人員	22名（28名減）
第3回：	8月3日～8月8日	参加人員	50名（14名減）
第4回：	8月25日～8月29日	参加人員	29名（2名減）
第5回：	9月8日～9月12日	参加人員	29名（40名減）
第6回：	9月16日～9月19日	参加人員	60名（2名減）
第7回：	9月29日～10月3日	参加人員	34名（26名減）
第8回：	10月6日～10月10日	参加人員	41名（8名増）

###### ・ウィークリーコース

シーズン中の平日、随時実施した。

飛行日数：47日（1日増）

飛行回数：334回（60回増）（除体験189回）

飛行時間：200時間（93時間増）（除体験168時間）

・ウィークエンドコース

シーズン中の土日祝日に実施した。

飛行日数：67日間（10日増）

飛行回数：1,946回（197回増）（除体験1,444回）

飛行時間：1,278時間（300時間増）（除体験1,174時間）

② クロスカントリーキャンプ

上級者に特化したコースを実施した。

開催期間：5月26日（月）～5月30日（金）

参加人数：のべ、21名

飛行回数：42回（除体験35回）

飛行時間：38時間（除体験37時間）

③ グライダーキャンプ

・大学生・新社会人を対象としたコースキャンプを実施した。

8月11日（月）～8月15日（金）の内、4日間

参加人数：のべ29名

飛行回数：102回（除体験46回）

飛行時間：80時間（除体験68時間）

・大阪大学等OB会が行った合宿の支援を行った。

7月28日（月）～8月1日（金）

参加人数：のべ76名

飛行回数：189回（除体験157回）

飛行時間：105時間（除体験99時間）

2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。

自社機を含む常駐機 27機

外来機 2機

出張整備 1機

また、無線局登録検査等事業者として航空機局無線機検査業務を実施した。

3. 特定操縦技能審査を実施した。

審査件数：26名（グライダー21名、軽飛行機5名）

また、10月14日～15日に、操縦技能審査員（飛）認定試験を実施し、協会スタッフ1名が合格した。

4. 曲技飛行講習会を実施した。

櫻井玲子氏を講師として迎え、6月19日～22日まで曲技飛行講習を行った。

飛行回数：16回

（6月19日～20日 協会スタッフへの曲技講習）

5. 各種受験に関する指導を行った。

① 自家用操縦士（滑空機）受験に対する受験対策講習の実施

10月15日実地試験 自家用操縦士（滑）上級1名 受験・合格  
（前年比2名減）

② 日本滑空記章及び国際滑空記章に関する指導並びに試験

スクール会員及びクラブ員に対して、13件実施した。(前年比1件増)  
日本滑空記章 A章×5名、B章×2名、C章×2、銅章×2名  
国際滑空記章 5時間滞空×2名

- ③ 航空従事者試験官の技量拡張訓練(滑空機免許取得訓練)の受け入れ  
10月1日～15日 1名(①の人数に含む)

6. 各種講習会を実施した。

- ① 日本航空機操縦士協会講習会

7月12日、札幌市で実施の航空安全講習会に講師を派遣した。

- ② 北海道滑空協会指導者講習会

桜井玲子氏を講師として、「異常姿勢領域への接近の感知とその回避」をテーマとした講習会を実施した。

開催期間：6月21日(土)～22日(日)

場所：たきかわスカイパーク

飛行回数：11回

7. 国際交流事業の推進

- ① 教官の派遣

教官1名を派遣した(日口裕二)。

期間：平成26年12月22日～平成27年1月18日

派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場

- ③ 曳航機パイロットの招聘

各種飛行事業の円滑な実施のために、曳航機パイロットを招聘した。

招聘者：ロイド・バウム氏(オーストラリア国) (12週間)

ジョン・ブライス氏(オーストラリア国) (8週間)

8. 国内滑空団体との連携

全国クラブミーティングの開催を提案し、第1回が11月29日～30日に大野グライダークラブ(岐阜県揖斐郡大野町)で開催され、参加した。そこでは、各クラブが抱える課題や我が国の滑空界の底上げのための提案などについて意見交換を行い、今後、テーマに応じたワーキンググループでたたき台を作成し、次回クラブミーティング(6月長野市開催予定)で検討することになった。

II スカイスports啓発事業(公益目的事業2)

1. 市内・外の学校を対象とした体験学習等の受け入れを行った。

- ① 市内・近隣小学校の体験学習の受入

市内全小学校および新十津川小、空知太小の4～6年生までの内、1学年について、軽飛行機による体験搭乗を実施し、空から眺める郷土について学習する場を提供した。

受け入れ学校数：7校

体験搭乗者数：330名

6月10日 東小学校 5年生 78名

6月19日 西小学校 6年生 49名

6月20日	江部乙小学校 4年生	15名
10月21日	空知太小学校 6年生	26名
10月23日	滝川第一小学校 6年生	42名
10月24日	滝川第三小学校 4年生	68名
10月30日	新十津川小学校 4年生	52名

② 市内外の小中学校生徒・児童および各種団体による施設見学の実施  
市外の小中学校から施設見学を受け入れた。

5月15日	江別中央中学校	131名
6月13日	滝川第二小学校 1年生	81名
6月13日	砂川北興小学校	22名
6月25日	歌志内小学校 5・6年生	45名
7月 8日	札幌市立稲穂小学校	104名
7月 9日	ライフコート宮の沢	14名
7月10日	妹背牛小学校 4年生	6名
9月19日	滝川開成中学校 1年生	3名
9月22日	滝川地区防火安全協会	37名
10月22日	笹川老人クラブ	20名
11月19日	札幌国際大学	18名
12月22日	滝川市国際交流課	4名

北海道教育委員会イングリッシュキャンプにおける施設見学を受け入れた。

8月13日 12名

③ 市内・新十津川町の不登校児童（中学生）の体験搭乗の実施

8月28日 5名

④ まちづくり見学バスの受け入れ

9月28日 25名

⑤ 市内中学校の体験学習（職場体験）の受け入れ

滝川市キャリア教育推進事業の一環としての職場体験学習を受け入れた。

9月17日～19日 江部乙中学校 3年生 1名

10月 8日～ 9日 明苑中学校 2年生 6名

2. こどもの日特別企画「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内のこどもたちを対象に、体験搭乗や紙飛行機教室を実施した。

開催日：5月5日（月・祝）

体験飛行応募総数：121名（前年比36名減）

体験者数：53名（前年比5名増）

来場者数：500名（前年比100名増）

内 容：体験飛行、施設見学、紙飛行機製作

3. ジュニアグライダークラブの活動

今年度参加したジュニア会員は計2名（前年比1名増）。内1名は、初単独飛行を行うなど、2名とも着実に技術を向上させた。

4. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

① 滝川ミーティングの実施

MG19の修復作業を行った。

回数：5回

日数：13日

延べ参加人数：55人

作業場所：旧滝川高等技術専門学院建築棟

作業内容：MG19の修復作業

#1 5月19日～20日

#2 7月21日～26日

#3 8月30日

#4 9月5日～6日

#5 10月8日～9日

- ② イベントを通じたヴィンテージプロジェクトの広報  
8月1日～9月27日 「かぜのび」(新十津川町)において、M-02Jと併せてミニモアの地上展示を行った。
- ③ 「ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト」報告会の開催  
日時：12月6日(土) 14:00～16:30  
場所：航空会館(東京都)
- ④ VGAとの連携  
連携できる関係を構築するには至っていない。
- ⑤ 関係資料の分類・整理・公開  
航空動態博物館内のヴィンテージ図書コーナーの充実を図った。

## 5. 航空青少年団体との連携

千歳航空少年団の軽飛行機・モーターグライダーによる体験搭乗を実施した。

10月4日 48名

## 6. イベント支援

- ① 第28回札幌航空ページェント参加  
曲技用グライダーおよび曳航用軽飛行機を丘珠空港に派遣した。  
開催日：7月20日(日)  
場 所：札幌飛行場陸上自衛隊丘珠駐屯地  
主 催：北海道航空協会  
(公社)北海道スカイスポーツ協会  
来場者数：50,000人
- ② 千歳基地航空祭2014参加  
グライダー1機の地上展示を行った。  
開催日：8月3日(日)  
場 所：航空自衛隊千歳基地  
主 催：航空自衛隊  
来場者数：62,000人
- ③ 滝川駐屯地創立59周年記念行事参加  
モーターグライダーのデモ飛行を行った。  
開催日：6月15日(日)  
場 所：陸上自衛隊滝川駐屯地

## 7. スカイパーク施設の管理・運営

平成 26 年 4 月 1 日に滝川市と「滝川市航空科学センターの管理運営に関する協定」を締結し、施設の指定管理業務を行った。

協定期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

## III 地域振興に寄与する事業（公益目的事業 3）

### 1. サマースカイフェスタ 2014 の開催

サマースカイフェスタ 2014 を実施した。当日は、豪雨であったため、各種催しは中止したが、M-02J の展示、八谷氏による解説などが行われた。

開催日：7 月 27（日）

来場者数：1,000 人

### 2. 観光客等の受入

① ツアー企画提携会社 4 社のツアー参加者計 245 名（前年比 43 名増）の体験搭乗を実施した。

② たきかわ観光協会と連携し、台湾のウェディングフォトロケーションの受入れを行った。

また、海外からインターネットでの体験搭乗申し込みを積極的に受け入れた。

外国人体験搭乗者数：38 名（香港、台湾、USA、バングラディッシュ、中国、シンガポール、タイ）

③ 美唄・富良野・ニセコのスカイスポーツ体験事業者と合同パンフレットを作成し、イベント会場、リリエントール、札幌駅の観光案内所および滝川市内各施設等で配布した。

④ インターネット経由で 2445 名（前年比 44 名増）の体験搭乗依頼があった。

### 3. グライダー等による体験飛行会の実施

① 滝川市民を対象とした体験搭乗会を実施した。

参加人数：291 名（前年比 96 名減）

実施期間：7 月 23 日～7 月 25 日、9 月 1 日

② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。

参加人数：995 名（前年比 69 名増）

実施期間：4 月 24 日～11 月 8 日

③ 滝川一心会の体験飛行会の受け入れ

参加人数：5 名

実施期間：9 月 20 日～10 月 5 日

### 4. 「そらぷちキッズキャンプ」の支援

スカイスポーツを体験してもらうため、搭乗券を提供した。

## IV スカイスポーツに関する調査研究事業（公益目的事業 4）

### 1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

① ホームページ、フェイスブックによる情報発信に努めた。

② パンフレットの活用、観光業者との連携

・体験飛行パンフレットのリニューアルを行った。

- ・11月18日に（一社）北海道体験観光推進協議会主催の北海道観光商談会に出席し、観光事業者にグライダー体験や当協会事業についての売り込みを行った。

参加した旅行会社等：37社  
 参加した観光事業者数：89社

2. 外国人による航空機の操縦練習許可  
 進展には至っていない。

3. 研究機関との共同研究

北海道大学低温科学研究所が獲得した科学研究費補助金を活用して、協会社屋屋上に設置されている大気観測装置と、グライダーに搭載した観測装置を用いた大気観測を行った。

飛行回数：10回  
 飛行時間：10時間

V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）

たきかわスカイパークを利用する航空機ならびに周辺上空を飛行する航空機に対して気象情報や航空交通情報などの提供を通して、必要な飛行支援を行った。

VI 利用者への施設提供事業（その他の事業1）

たきかわスカイパーク利用者への利便性を向上させるため、各種の施設提供事業を行った。

## 管理部門

### 1 会員

正会員数は各種料金の改定を行ったことから、大きく減少した。学生会員の増加は、北海道大学航空部所属の学生会員が増えた影響が大きい。

## 会員の入退会状況

2015年3月31日現在

会員種別		H22	H23	H24	H25	H26
正会員	個人	165 14 7	176 16 5	172 15 19	170 7 9	147 7 30
	法人	17 0 0	17 1 1	16 0 1	16 0 1	16 0 0
特別会員	個人	4 0 0	4 2 2	4 0 0	4 0 0	4 0 0
	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		188	199	194	192	171

小数字 左:入会者数、右:退会者数

名誉会員	3	2	2	2	2
------	---	---	---	---	---

賛助会員	個人	6	7	10	11	11
	法人	2	4	7	6	6
連絡会員		3	3	2	2	1
学生会員		10	10	12	17	22
青少年会員		9	4	1	1	2
総計		220	229	228	231	215

## 2 理事会・総会等

### ・第1回理事会

開催月日：平成26年4月25日（金）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認、平成25年度事業報告書の承認、平成25年度財務諸表及び関連書類の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席1名。  
出席監事の数2名。

### ・第2回理事会

開催月日：平成26年5月13日（火）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：理事の職務の執行状況、「サマースカイフェスタ2014」の準備状況

決議事項：役員の変更、新規加入会員及び退会者の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席6名、欠席2名。  
出席監事の数1名、欠席1名。

### ・第1回総会

開催月日：平成26年5月13日（火）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：平成25年度事業報告書、平成26年度事業計画書及び収支予算案

決議事項：平成25年度財務諸表および関連書類の承認、役員の変更、規定の変更

出席等：定足数94、出席会員議決数100。出席理事6名。出席監事1名。

### ・第3回理事会

開催月日：平成26年11月19日（水）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：平成26年度事業の執行状況、平成26年度予算の執行状況、職務の執行状況、

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名。  
出席監事の数2名。

### ・第4回理事会

開催月日：平成27年3月19日（木）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：新規加入会員及び退会者、平成26年度決算見込

決議事項：平成27年度事業計画書及び収支予算書の承認、特定資金の取り

崩し方針、役員の変更、規定の変更、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名。  
出席監事の数2名。

3 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ上および管理棟掲示板で定款、組織図、役員名簿、事業報告、財務諸表、事業計画書、予算書など法人運営に関する情報を公開した。

4 業務執行体制の整備と強化

理事兼務職員（パイロット）1名を増員し、理事総数9名の体制とし業務管理体制を充実させるとともに、運航体制の強化を図った。また、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

5 その他

○消費税の増税および航空機燃料の高騰等にもない収支 均衡を保つため、以下の項目について料金の見直しを行った。

・値上げ

年会費  
曳航料  
モーターグライダーエンジン使用料  
体験搭乗料（市民料金は据え置き）  
入館料  
キューロッジ宿泊料  
スマートレーニングコース参加費  
航空機格納料

・値下げ

青少年年会費  
北海道滑空協会会員離着陸料  
学生会員から正会員への種別変更時の入会金

○M-02J の試験飛行の支援を行った。

16日間 76回（ジャンプ35回、第二段階41回）

○NPO アートチャレンジ滝川と共同で、八谷和彦氏講演会を開催した。

9月20日 「ナウシカの飛行具が滝川にやってきた」

会場：たきかわホール

来場者数：60名

○滝川市防災総合訓練に参加した。

10月12日 軽飛行機による初動偵察

○「インターネットによる飛行計画等の取扱いサービス（SATサービス）」申請し、認可された。今後、協会保有機のフライトプラン提出などに活用する。

○「タキカワフライトサービス」補助局の設置を申請し、より安全性の高い運用を目指す。

○災害用夜間離着陸照明装置導入を計画し、（公財）JKA に対して助成申請を行ったが、採択されなかった。

○「サマースカイフェスタ 2015」に対し、北門信用金庫まちづくり基金助成事

業に申請し、採択された。

助成金贈呈式 11月28日

※平成26年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成27年 4月

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会